

まちのプロデューサーズ について

産官学NPOが協働するプロジェクトを数々生み出してきた広告、政治、金融のプロ集団があなたのまちを盛り上げます。

事業内容：自治体のブランディング・PR、企業の新商品のプロモーション、研修 等

※本事業は、これまで数々の企業研修を請け負ってきた一般社団法人work atとともに運営いたします。

講師紹介

その他講師も登壇予定です。



上木原 弘修

うえき ひろのぶ

一般社団法人work at 代表
慶應義塾大学SFC研究所
首席研究員

略歴

1983年 東京大学文学部卒、(株)博報堂入社。
ブランド開発業務、ソーシャルマーケティング業務を数多く経験。
組織開発のプロジェクトリーダー、ファシリテーターを務める。
雑誌「広告」編集委員(2005~2008年)。
社長賞2度受賞。2018年3月退社。
日本広告学会会員。
日本広報学会会員。
日本PR協会資格委員会委員。
プロジェクト結コンソーシアム元理事。

研修プログラムデザイン、および講師歴

博報堂大学(hakuhodo.univ)設立委員。
社内外、国内外のマーケティング研修・タッチポイント研修講師、
日本PR協会認定試験テキスト執筆。

主な論文・著作・訳書

> 「18歳からの選択」(共著、フィルムアート社、2016年)
> 「ソーシャルパワーの時代」(共著、産学社、2016年)
> 「ソーシャルインパクト」(共著、産学社、2014年)
> 「学ぶ、考える、話しあう討論型世論調査」(共著、ソコ新書、2013年)
> 「ドキュメントの統合マーケティング」(共著、ダイヤモンド社、2005年)
> 「コンセプトノート96」(共著、PHP96年)
> JAAA懸賞論文賞「広告の今日的価値」
ほか多数。



横尾 俊成

よこお としなり

一般社団法人work at 理事
NPO法人グリーンパード 前代表
港区議会議員

略歴

2005年 早稲田大学大学院卒、(株)博報堂入社。
社長賞受賞。
まちの課題を、若者や「社会のために役立ちたい」人の力で解消する
仕組みづくりがテーマ。
第6回、第10回マニフェスト大賞受賞。
月刊「ソトコ」で「まちのプロデューサー論」を、「日経レジャカフェ」で
「僕ら流・社会の変え方」を連載。

メディア・講演歴

> 「NHKスペシャル「崖っぷち!? わが町の議会」
→さらに、「地方議員は必要か」(文春新書)に横尾の活動が掲載
(NHK 2019.7.27)
> 「環境・観光アウトドア・自然まちづくり」
(あきる野ダイアログ第二号 2019.3.21)
> 「社会課題の解決を仕事にしよう!」(千葉大学 2019.1.22)
> 「世界社会学会議 トロント大会」(博士課程での研究発表 2018.7.21)
> 「若者の政治参加・社会参加を促す取り組み」(明治学院大学 2018.3.21)
> Mr.サンデー 特集「フジテレビ 2016.9.4」
ほか多数。

主な論文・著作・訳書

> 「18歳からの選択」(共著、フィルムアート社、2016年)
> 「社会を変えるのはじめかた」(産学社、2013年)



古川 央士

ふるかわ ひさし

一般社団法人work at 理事
株式会社アルファドライブ
執行役員
株式会社ノックダイス
代表取締役

略歴

青山学院大学 文学部第二教育学科 卒。
学生時代に電子書籍関連のベンチャーを創業経営。
その後、株式会社リクルート(現リクルートホールディングス)に新卒入社。
SUUMOでのUI/UX組織の立ち上げや、Able開発導入のプロジェクトを指揮。
その後ヘッドクォーターで新規事業開発室のGMとして、複数の新規事業
プロジェクトを統括。
パラレルキャリアとして、2013年より株式会社ノックダイスを創業。
2015年にはカフェバー「Bottles」をオープン。
2018年にはイタリアンレストラン「trattoria filo」をオープン。

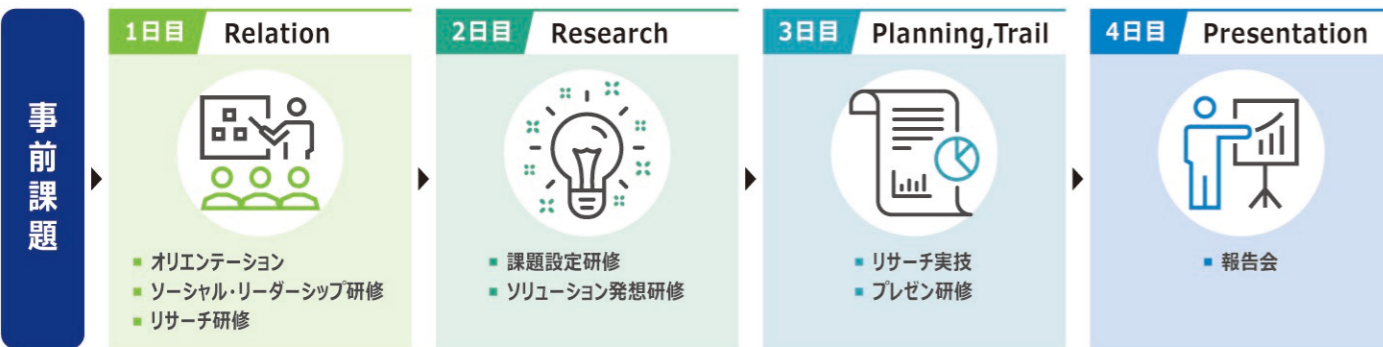
登壇・講師歴

> 「宣伝会議 クリエイティブ内製推進セミナー」
(宣伝会議 2017.6.5~ 聴衆開催)
> 「PRODUCERS CAMP TOKYO」
(リクルートホールディングス 2016/12/10~ 全6回)
> 「ビジネスリーダーが語る、20代のキャリア論」(京都大学 2015.11.6)
ほか多数。

メディア歴

> 「恐怖体験のプロデューサー」(Logmi 2017.1.28~連載)
> 「大企業からイノベーションは生まれない」の常識は覆せるか?」
(Newsicks 2015.9.30)

研修内容



プログラム概要

研修名 トライアングル・イノベータープログラム

開催期間 3泊4日

提供内容

- 自治体への留学マッチング
- 留学先での事業開発課題への従事プログラム
- 留学期間中の研修実施、メンタリングサポートの実施

遂行概要

- チームングを行ったうえで、チーム研修を原則とする。
- 自治体と連携・報告しながら、研修生自らが主体性、当事者性を発揮して、自主的に新規事業の企画実行を行う。
- 主体は研修生であるが、まちのプロデューサーズ主催の研修・メンタリングを実施。

株式会社 まちのプロデューサーズ

〒107-0052 東京都港区赤坂6-19-7-307
TEL: 03-6426-5415 FAX: 03-6426-5314
E-mail: info@machi-pro.tokyo

社会課題の解決を通して、新事業の立ち上げ方を学ぶ

トライアングル・ イノベーター研修 のご案内



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

SDGs対応研修：17.17

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

企業版ふるさと納税にも対応



株式会社 まちのプロデューサーズ

トライアングル・イノベーター研修が 成長できる場を提供します

研修を通し、以下の3つの課題を解決することは、若手社会人が自身のキャリアを考えていく上で、新たな視点を持つきっかけになると考えられます。

若手社会人が抱える 3つの課題



企業内部や業界の
知識・ネットワークだけでは
本当のニーズが見えない



自ら動く積極性・当事者感覚、
強いモチベーションが
身に付けられない



全く新しい仕組みやサービス、
価値を創造する力、
What to doの力が足りない

3つの課題の 解決策



ワイドスコープ

多様で幅広い社員・職員、および全く新しい知識と出会える場を提供し、広い視野を築きます。



モチベーションアップ

シンプルな組織、強い動機付けを生むテーマで仕事を体験し、課題に取り込む当事者意識を獲得します。



スキルアップ

経験したことのない領域の課題に、ゼロベースから真剣に取り組むことで、実践的な経験に基づくスキルの獲得をねらいます。

参加者の声

研修生の学びとして、現場のリアルを肌で感じた経験を活かし、主体性を持って動くことができていると感じた。そこで得た知見と実行力をどう企業の中で発揮できるのか。大企業/大組織の中でも同様の行動が日常業務の中で実践できると期待している。



課題を深くする力。困りごとのコアな部分をさぐるために、「ヒアリングや自ら動く」ことを身に付けた。



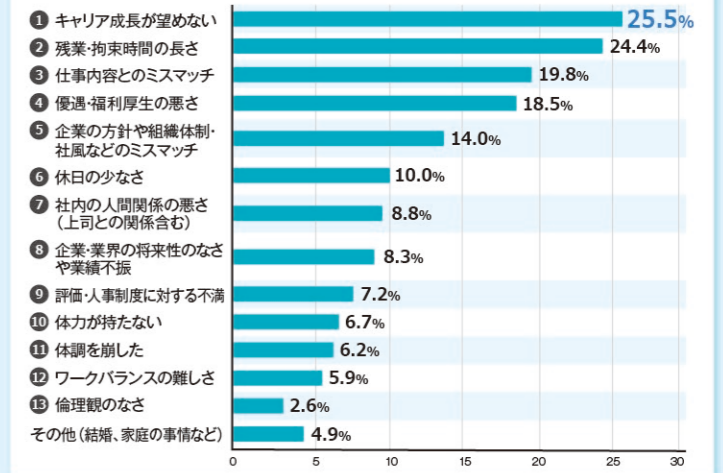
課題の提示が広いので、課題を一番本質的なところで設定することが試された。



なぜ研修が必要なのか？

近年、若手社会人による入社後すぐの退職が問題視されています。退職理由で最も多いのが「キャリア成長を望めない」(25.5%)で、全体の1/4を占めました。今の会社でのキャリアの成長に課題を感じ、新天地を求め退職している事がわかります。

企業にとっては、成長できる場を提供し続ける事が、これまで以上に必要となってきます。



出典：株式会社ヴォーカース「平成生まれの退職理由ランキング」

研修導入のメリット

企業のメリット

企業がイノベーション力の強化に取り組むのに必要な3つの課題を解決します。

- 01 企業内部や業界の知識・ネットワークだけでは得られない、本当のニーズに視点を当てられる人材を育てます。
- 02 全く新しい仕組みやサービスを生み出す発想力をもった人材を育てます。
- 03 自ら動く積極性・当事者感覚、強いモチベーションを身につけることができます。

自治体のメリット

- 01 地域課題を解決するために、様々な業種業界の人間がそれぞれの仕事で培った知識、経験を活かし、問題解決の糸口を模索してくれます。
- 02 多くの企業と人が地域に関わってくれる事で、将来的に観光やふるさと納税の増にもつなげられます。
- 03 地域課題に対して、研修を導入することにより、解決へ向けての取り組みを地域内外の人に知ってもらえます。